

# Carbon Impact Report 2024

Material Bank® Japanは、建材メーカー及び建築・空間設計各社と共にサービスの利用を通してCO<sub>2</sub>排出量を削減し、その効果を視覚化するためにCarbon Impact Programに取り組んでいます。  
本レポートでは、Material Bank® Japanサービスの利用を通して得られたCO<sub>2</sub>排出量などの効果をレポートします。

## Material Bank® Japanが目指す「日本の建材サンプルに関わるサステナビリティ」構想

Material Bank® Japanは空間デザインプロセスの必須工程となっている建材サンプル取り寄せと、それにもない発生している廃棄に課題があると認識しています。空間デザインにおいてデザイナーの発想・イメージを実物の建材に当てこんでいくために、建材サンプルの入手は、避けられない必須の工程です。

その工程自体に複数の問題が存在します。現在は多くの場合、設計士・デザイナーは設計をする際に、必要に応じて複数のメーカーに建材サンプルを依頼し、各社ごとの配送を受け取っています。当社調べでは、多い時には10数社以上のサンプル取り寄せをして、それと同じ個数の配送が発生しています。

一つの空間の設計に対して、多くの配送をそれぞれ異なるタイミングで受け取るプロセスがデザイン工程を複雑にしています。この複数個の配送は、集約配送を実現することで削減が可能となります。

また、廃棄に関する問題もあります。取り寄せられ、検討に使われた建材サンプルは、使用に関する意思決定が完了した時点で基本的には不要となります。不要となった建材サンプルについては、デザイナー側で廃棄処分するか、各メーカーに返却がされているかのいずれかですが、多くの場合メーカー側でも廃棄処分されているのが現状です。

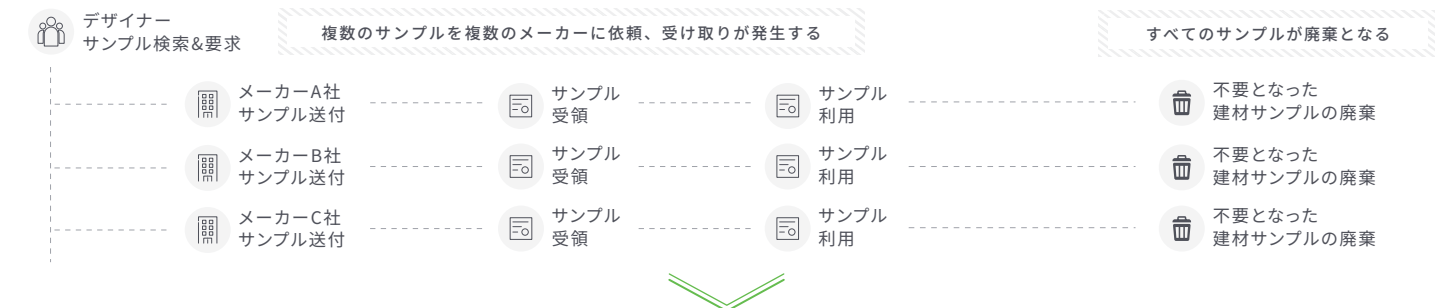
ここでの課題は、多社に渡る建材サンプルのデザイナー側における仕分け作業と、それを返却されたメーカー側における再利用プロセスです。

Material Bank® Japanでは、その両方の課題を解決します。デザイナーは、不要となった建材サンプルを一括してMaterial Bank® Japanに返却することで仕分け作業から解放され、不定期に返却される数多くの建材サンプルを仕分けと再利用への品質判断を一括して実施することにより実現します。

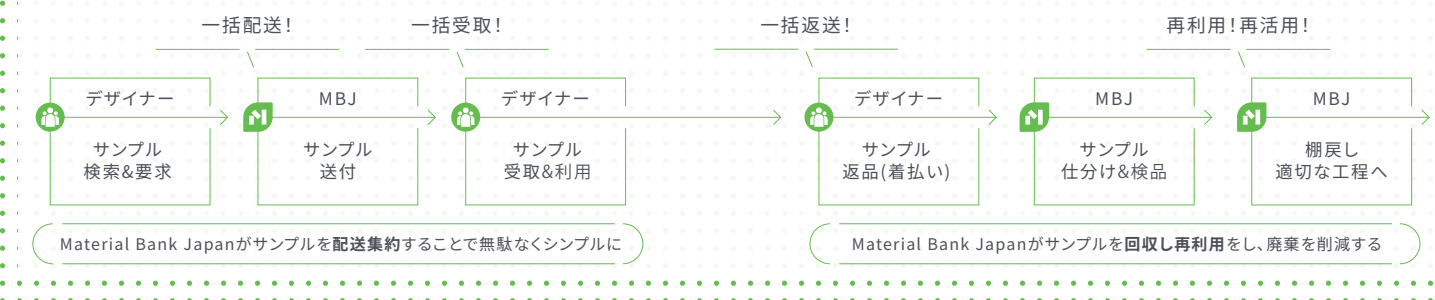
### ■ 現在のプロセス

現在の建材サンプルの取り寄せにおいては、デザイナーは建材メーカーに個別にサンプルの依頼を行い、建材メーカー各社が個別に配送しています。これらは、各社のタイミングで送付されてくるため、デザイン工程の中でも案件ごとに取りまとめることが困難な点の一つとなっています。また、不要となった建材サンプルは、基本的にデザイナーファームや個人のデザイナーが廃棄処分します。建材メーカーに返送されることもあります。多くの場合メーカー側でも処分されている状況です。こういった個別の配送や廃棄ではCO<sub>2</sub>排出が発生しています。

#### 現在のデザインにおけるサンプル取り寄せと廃棄のプロセス



#### Material Bank Japanが取り組むサステナブルなプロセス



### ■ Material Bank® Japanが取り組むサステナブルなプロセス

Material Bank® Japanでは、建材サンプルの取り寄せと不要となった建材サンプルの廃棄で発生するCO<sub>2</sub>削減を解決します。建材サンプルの取り寄せにおいては、Material Bank® Japanが一括してサンプル依頼を受け発送することで、建材サンプル取り寄せ時のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減しています。このプロセスの実現は、多数のブランドの建材を返却と再利用判断を元より想定して取り扱うMaterial Bank® Japanゆえに実現できるものです。

現在のこのプロセスはデザイナーやメーカーだけで解決できない環境負荷の高いプロセスとなっており、削減できるCO<sub>2</sub>排出量は膨大な量であると考えています。不要となった建材サンプルの廃棄についても、サンプルを一括で回収し、Material Bank® Japanで再利用や再活用が可能なサンプルについては廃棄を行いません。これもCO<sub>2</sub>排出を大幅に削減できると見込んでいます。

また、このプロセスは環境負荷低減だけではなく、デザインの必須工程をより簡略化し、デザイナーがより高い付加価値を發揮できるようになります。

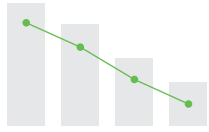
### ■ カーボンニュートラル配送

Material Bank® Japanは、輸送や廃棄の削減により配送するサンプル輸送に関わるCO<sub>2</sub>排出量をオフセットし、ユーザーの利便性を下げることなくカーボンニュートラルな配送を進めています。

# Carbon Impact Report 2024

Material Bank® Japan

## パッケージの削減数

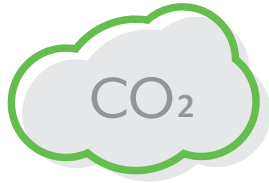


**12,800個** 削減された  
パッケージ数



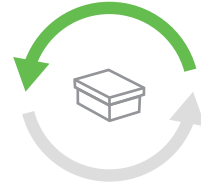
**1.7個** オーダー1件あたりの  
パッケージの平均削減数

## CO<sub>2</sub>削減量



**13.9+t** CO<sub>2</sub>  
排出削減量

## サンプル再利用量



**1989+kg** 再利用した  
サンプルの総重量

## サービス開始からの累計

● 2024\_12,800 ● 2023\_15,600



**15,600個** 削減された  
パッケージ数



**16+t**  
CO<sub>2</sub>排出削減量

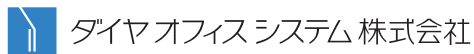


**2,600+kg**  
再利用したサンプルの総重量

# Carbon Impact Report

## 賛同企業

Material Bank® Japan



※特別賛同企業